

利上げ前倒し織り込み米国株は最高値更新



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① S&P500が最高値を更新

12月10日にS&P500種株価指数が最高値を更新するなど、米国株は年末ラリーへの期待が高まってきました。同日発表の11月の米CPI（消費者物価指数）が事前予想を上振れることへの警戒感が市場の一部であったものの、結果は市場予想と概ね一致したことが安心感につながったとみられます。

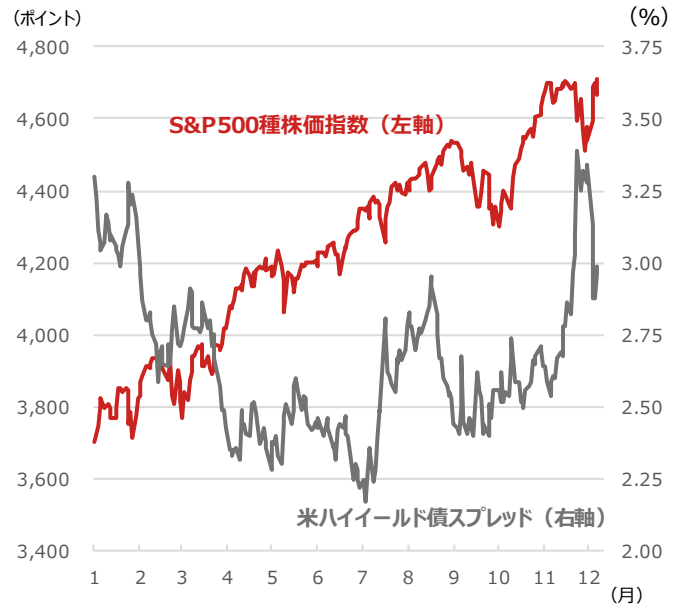
このところFRB（米連邦準備制度理事会）のタカ派転換を織り込む過程で、米ハイイールド債スプレッドが急拡大するなど、米金融市場では不安が高まっていました。ただ、足元では同スプレッドは縮小、S&P500種株価指数は再び高値を更新しており、市場はFRBによる利上げ前倒しを織り込みつつあるようにみえます（右上図）。

ポイント② 恐怖指数のVIXも急低下

また、恐怖指数の異名をとるVIXも急低下するなど、米国株に対して投資家心理は再び強気に傾きつつあります（右下図）。VIX先物の投機筋のショートポジションは今年一番の水準まで解消が進展しており（12月7日時点）、米金融政策を巡る市場の波乱は一巡した可能性があります。

12月10日時点でFF金利先物が織り込む利上げ回数を見ると、2022年6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）終了時点までで1.1回程度、同12月終了時点までで2.7回程度となっていますが、株式市場はその程度の利上げ回数であれば、業績拡大で乗り越えられると想定しているようです。今週14日～15日に開催のFOMCでは利上げの前倒し姿勢が示されるとみられます。ただ、市場は金融相場から業績相場にスムーズに移行しつつあるとみられ、米国株はFOMC後も堅調な展開が見込まれそうです。

S&P500種株価指数と米ハイイールド債スプレッド



期間：2021年1月4日～2021年12月10日、日次
・米ハイイールド債スプレッドは米10年国債利回りとの差、CSI BARC Indexを使用
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

S&P500種株価指数とVIX



期間：2021年1月4日～2021年12月10日、日次
・VIXとは米シカゴ・オプション取引所が、S&P500種株価指数を対象とするオプション取引の変動率を元に算出、公表している指数。一般的にVIXの数値が高いほど、投資家の先行き不透明感も強いとされる
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。